



猫と飼い主の 4つの約束

ボクたちと人間が幸せに暮らすために
守ってほしいニャ

飼い主には **命を預かる責任** と **社会に対する責任** があります

室内飼養

猫は家の中だけで飼いましょう

交通事故、感染症、迷子など、外には危険がいっぱい。放し飼いをしたために、命を落としてしまうことも…他人の敷地でフンをする、車を傷つけるなどのご近所トラブルも防げます。

不妊去勢手術

繁殖制限をしましょう

生まれた子猫に責任が持てないなら、増やしてはいけません。手術をすれば、繁殖期の鳴き声、マーキング、出会いを求めて脱走することも減るため、家の中で飼いやすくなります。

所有者明示

迷子札やマイクロチップを装着しましょう

突然の災害や脱走に備えましょう。せっかくマイクロチップを装着していても、登録情報が古いままではすぐにおうちに帰れません。飼い主や住所などの変更忘れがないか確認しましょう。

終生飼養

寿命を迎えるまで飼い続けましょう

猫の寿命は約15年。人生の転機が訪れても、飼い続けることができるかよく考えましょう。もしも飼育できなくなった場合は、飼い主の責任で新しい飼い主を見つけましょう。



人知れず消える 小さな命…

心無い飼い主が捨てたり、不妊去勢手術をしないまま放し飼いをしているために増えた野良猫。その野良猫が生み落とした子猫が、毎年数多く殺処分されています。不幸な命を減らすには、飼い主一人ひとりが、責任を果たさなければなりません。

愛情はたっぷり
責任はしっかり